

枚方淀川探鳥会2024年5月

2024年(令和6年)5月5日(日) 9:00~12:00

日本野鳥の会大阪支部

前田初雄、甲田正二、西脇淳浩、香月清宏、
松井正夫、新名泰博、平 軍二 (☎090-6901-1425)

I 今月の鳥・マガン



マガン 西脇淳浩

←マガン

先月4月の探鳥会で
マガンが確認されまし
た。

マガンは大阪府内で
数年に一度程度の割
合で観察されている
が、ほとんどが淀川
河川敷か、その周辺
になっている。

I-① マガン大阪府鳥類目録2016 ↓ (日本野鳥の会大阪支部)

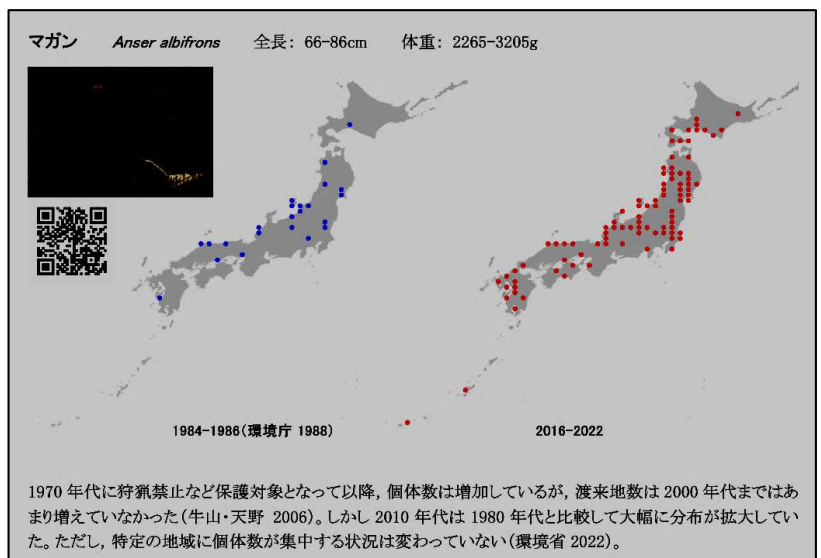
観察例が淀川水域に集中しており、淀川牧野・枚
方市岡(淀川)など、今日の探鳥コースで確認さ
れている。

5. マガン *Anser albifrons*

- 南港埋立地 ('52.4.6 1羽)
- 豊中市梶池 ('95.12.18,19,22 1羽)
- 岸和田市金池 ('00.10.11~13 1羽)
- 淀川牧野 ('01.2.24 1羽)
- 淀川鶴殿 ('01.3.3 1羽)
- 淀川牧野 ('02.10.26 1羽)
- 吹田市金田・広芝町 ('03.11.7 1羽)
- 高槻市大塚 ('06.11.23 1羽)
- 高槻市番田 (一) ('15.10.17 1羽)
- 枚方市岡淀川 ('15.12.9 1羽)

I-② マガン全国鳥類越冬分布調査 ↓ 2016-2022(バードリサーチ・日本野鳥の会)

最近(2010年代)は1980年代より、生息数が大幅に 増加している。



I-③ マガン繁殖・越冬分布図 → 真木・大西 日本の野鳥590(2000年)平凡社

マガンの繁殖地は寒帯(北極圏)、越冬地は温帯。

環境省の「モニタリングサイト1000」の調査で冬季の大規模な渡来地として伊豆沼・蕪栗沼(宮城県)があり、両池とも生息数が6万羽以上のマガンが集まる。春の渡りで八郎潟(秋田県)・宮島池(北海道)に移動するとのこと。他には、穴道湖(島根県)・片野鴨池(石川県)に1000~3000羽、少数であるが琵琶湖でも観察できる。



II 探鳥会観察チェックリスト

日本 鳥類 目録	鳥名	観 察 回 数	2023				2024								
			4/2	5/7	6/4	7/2	1/7	2/4	3/3	4/7	5/5	6/2	7/7		
5	キジ	49	3		2	1						3			
10	マガン	0										1			
21	ツクシガモ	1					3	1							
26	オカヨシガモ	47		雨			3	26	38	8					
27	ヨシガモ	16	10	天			6	11	19	2					
28	ヒドリガモ	44		中			2			3					
29	アメリカヒドリ	5		止											
30	マガモ	56	1					2							
32	カルガモ	91	12		6				2	4					
34	ハンビロガモ	9													
35	オナガガモ	8													
36	シマアジ	1													
37	トモエガモ	1													
38	コガモ	59	10				1								
42	ホシハジロ	40	3				48	70	33	2					
43	アカハジロ	4						1							
46	キンクロハジロ	42					114	275	67	31					
47	スズガモ	6													
58	ミコアイサ						1								
59	カワアイサ	46					15	6							
60	ウミアイサ	3													
62	カイツブリ	46	1				1	1		2					
64	カンムリカイツブリ	57	2				4	9	2	5					
66	ハジロカイツブリ	4													
74	キジバト	112	4		2	1	3	10	6	4					
83	シロエリオオハム	1													
127	カワウ	111	7		6		9	16	6	3					
139	ゴイサギ	10			1	5									
141	ササゴイ	15													
143	アマサギ	2													
144	アオサギ	113	2		1	1	4	2	10	4					
146	ダイサギ	109	5		6	2	2	3	3	2					
148	コサギ	100	5		1	1	3	4	1	2					
153	ヘラサギ	1													
154	クロツラヘラサギ	1													
166	クイナ	12													
170	ヒクイナ	7													
174	バン	23													
175	オオバン	48	53				53	122	54	66					

日本 鳥類 目録	鳥名	観 察 回 数	2023				2024								
			4/2	5/7	6/4	7/2	1/7	2/4	3/3	4/7	5/5	6/2	7/7		
185	ホトトギス	2													
187	ツツドリ	2													
188	カッコウ	1		雨											
192	アマツバメ	2		天											
194	タゲリ	1		中											
195	ケリ	27		止											
202	イカルチドリ	9													
203	コチドリ	30	1								1				
204	シロチドリ	4													
219	タシギ	4									1				
227	チュウシャクシギ	2													
235	アオアシシギ	1													
239	クサシギ	3													
241	キアシシギ	1													
244	イソシギ	80	1								2	3	1	1	
251	トウネン	1													
266	ハマシギ	1													
286	ユリカモメ	22													
293	ウミネコ	3													
294	カモメ	3													
299	セグロカモメ	19									1				
307	コアジサシ	9													
339	ミサゴ	66									1	2	2	1	
340	ハチクマ	2													
342	トビ	92	3		1	3	2	2	1	3					
349	チュウヒ	1									1				
350	ハイロチュウヒ										1				
355	ハイタカ	33	2				1	2							
356	オオタカ	25	1		1	2			1	1					
357	サシバ	1													
358	ノスリ	34							1	1					
366	オオコノハズク	1													
383	カワセミ	97	2		2	1	1			1					
388	アリスイ	9													
390	コゲラ	94	2		5	3	2	3			1				
393	アカゲラ	6													
401	チョウゲンボウ	53	1				3	1		1	2				
407	ハヤブサ	26								1		2			

日本 鳥類 目録	鳥名	観 察 回 数	2023				2024							
			4/2	5/7	6/4	7/2	1/7	2/4	3/3	4/7	5/5	6/2	7/7	
412	サンショウクイ	1												
418	サンコウチョウ	1		雨										
420	モズ	103	2	天	1	4	7	6	3	6				
435	ハシボンガラス	114	14	中	13	8	11	17	14	7				
436	ハシブガラス	111	4	止	3	4	3	4		3				
438	クイタダキ	8												
439	ツリスガラ	1												
442	ヤマガラ	7												
443	ヒガラ	1												
445	シジュウカラ	106	14		4	8	7	4	6	17				
452	ヒバリ	64	1			1								
455	ショウドウツバメ	6												
457	ツバメ	58	2		41	30				11				
459	コシアカツバメ	20												
461	イワツバメ	46			70	2	100		30	1				
463	ヒヨドリ	115	234		35	33	153	120	32	74				
464	ウグイス	109	18		10	15	6	4	4	10				
466	エナガ	87	6		3		5	9	6	3				
476	オオムシクイ	5												
477	メボソムシクイ	5												
479	エゾクシクイ	1												
480	センダイムシクイ	7												
483	メジロ	92	2		8	7	8	3	4	7				
492	オオヨシキリ	30			6	6								
499	セッカ	29			3	4								
506	ムクドリ	102	9		93	60	13	35	2	33				
508	コムクドリ	5												
511	ホシムクドリ	2												
520	マミチャジナイ	1												
521	シロハラ	51	1				2	1						
522	アカハラ	2												
525	ツグミ	55	72				4	27	30	11				
533	ノゴマ	1												
536	ルリビタキ	1												
540	ジョウビタキ	55					1	2	2					
542	ノビタキ	13												
549	イソヒヨドリ	33					1	1						

日本 鳥類 目録	鳥名	観 察 回 数	2023				2024							
			4/2	5/7	6/4	7/2	1/7	2/4	3/3	4/7	5/5	6/2	7/7	
552	エゾビタキ	8												
553	サメビタキ	1		雨										
554	コサメビタキ	17		天										
558	キビタキ	16		中										
560	オジロビタキ	1		止										
561	オオルリ	4												
569	スズメ	114	11		42	28	26	33	24	25				
573	キセキレイ	38	1				1	2	1					
574	ハクセキレイ	105	5		4	1	8	14	8	4				
575	セグロセキレイ	102	2			2	2	2	2					
584	タヒバリ	29	1				2	6	25	2				
586	アトリ	29												
587	カワラヒワ	104	11		6	3	35	31	36	11				
588	マヒワ	6												
592	ベニマシコ	44												
600	シメ	41						1						
602	イカル	17												
610	ホオジロ	109	14		10	8	8	2	6					
614	ホオアカ	6												
617	カシラダカ	23												
618	ミヤマホオジロ	1												
624	アオジ	65	3				6	12	9	4				
628	オオジュリン	17												
	コジュケイ	13												
	カワラバト(ドバト)	110	○		22	1	23	130	56	14				
	ハッカチョウ	1												
	カッコウSP	5												
	アイガモ	3												
	メボソムシクイSP	5												
	ヒタキSP	3												
	種数合計(自動計算)		45		30	30	49	48	41	39				
	個体数合計(自動計算)		559		408	248	709	1047	548	393				
	探鳥会参加者数		16		28	16	24	17	27	24				
11 年 間	1~2回													
	100回以上													
	今後樹林伐採影響													

2012年1月~2023年12月の11年間に
観察回数の少ない種・多い種、更に樹
林伐採の影響を受けると思われる種を
リストアップした。

Ⅲ 先月(4月7日)探鳥会報告

集合地点でサクラに来ているヒヨドリ・スズメを観察、スタート直後に関西医大の建物の隙間にムクドリ・スズメの巣があり出入りを繰り返していた。淀川河川敷に入ってからシジュウカラ・ウグイス・メジロ・ホオジロのさえずりが切れ目なし、キジも姿は見えなかったが「ケーン・ケーン」を聞かせてくれた。淀川本流に残っているカモは、キンクロハジロ(31羽)が多かったが、オカヨシガモ・ヨシガモ・ヒドリガモ・カルガモ・ホシハジロは一けた台であった。オオバンは数多く(66羽)残っており、中に1羽一部白化個体がいた。また、天野川岸の石の上から、近くの草を食べるオオバンがいた。また冬の間は白い首が長く見えるカンムリカイツブリ、名前の通りに冠を飾った繁殖羽に変化した個体がいた。今月の目玉の鳥はマガン、枚方淀川では2001年・2002年、そして2015年に記録されている。今回はオオタカのために残した「オオタカの森」すぐ下流側で、樹林伐採後の草原にいて、全員で観察できた。マガンをゆっくり観察したい方がおられると思われることから、探鳥会は磯島グランドで中締めとした。



タンポポの種子を求めて集まったカワラヒワ(西脇淳浩)



オオバン部分白化個体(西脇淳浩)



餌を探し浅瀬を歩くアオサギ(西脇淳浩)



ウグイスのさえずる姿を堪能(西脇淳浩)

Ⅳ 来月2024年6月2日探鳥会

今日と同じように 大阪支部HPからホームズ様式からお申し込みください。



ホオジロ(20230604)平 軍二

枚方淀川探鳥会のメインルート「野鳥通り」を中心に樹林が伐採された。林の鳥はいなくなったが、草原の鳥が良く観察できる筈。ホオジロ・キジ・オオジュリン・ヒバリ・セッカなどを期待している。